

平成28年度 第3四半期 決算概要

平成29年2月10日

このページは空白です。

目次

ハイライト 4

平成28年度第3四半期決算

<常陽銀行・足利銀行>

* 特に表示がないものについては「銀行単体」の計数を記載しております。

◇ 決算のポイント	5
◇ コア業務粗利益	6
◇ 資金利益・役務取引等利益	7
◇ 預貸金 平残・利回り	8
◇ 貸出金(1)(2)	9-10
◇ 預金	11
◇ 預り資産(1)(2)	12-13
◇ 有価証券運用	14-15
◇ 経費・OHR	16
◇ 信用コスト・開示債権	17

平成28年度通期業績見通し

<めぶきF G>

◇ 通期業績見通し	18
◇ 自己資本比率・格付け	19
◇ 株主還元	20

統合施策の進捗

◇ Day180プラン	21-22
-------------	-------

【参考資料】

◇ 第3四半期決算の概要	23
◇ 負ののれんについて	24

ハイライト

【めぶきFG】 28年度第3四半期決算・通期業績見通し・配当予想

- めぶきFG連結の親会社株主に帰属する四半期純利益は1,531億円。
(負ののれん発生益(特別利益)1,192億円含む) *負ののれん発生益についてはP.24 参照
通期純利益見通しは1,550億円から変更なし。
- 期末配当予想(1株あたり配当)は、経営統合記念配当1円を含め6円50銭。
- 新グループとしての成長に向けた資本の確保と株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。

【常陽銀行】

28年度第3四半期決算のポイント

- 資金利益、役務取引等利益が減少の一方、有価証券売買益の増加、信用コストの改善を主因に、四半期純利益(単体)は前年同期比13億円の増益。
- 貸出金は、住宅ローン、アパートローンを中心に残高増加。28年12月末の貸出金残高は5兆9,676億円(前年同期末比+968億円・年率+1.6%)。貸出金利回りは前年同期比7bp低下。

【足利銀行】

28年度第3四半期決算のポイント

- コア業務粗利益が減少の一方、有価証券売買益の増加、経費や法人税等調整額の減少等により、四半期純利益(単体)は前年同期比11億円の増益。
- 貸出金は、住宅ローンを中心に残高増加。28年12月末の貸出金残高は4兆2,892億円(前年同期末比+629億円・年率+1.4%)。貸出金利回りは前年同期比8bp低下。

決算のポイント

- ◇ 常陽銀行・足利銀行合算の四半期純利益は、単体ベースで470億円、連結ベースで520億円。
- ◇ めぶきFG連結の経常利益は428億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,531億円。

● めぶきフィナンシャルグループ (単位:億円)

項目	FG 連結	進捗率	業績 予想
経常利益	428	80.7%	530
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,531	98.8%	1,550
(除く負ののれん発生益)	339	84.8%	400

(*) 進捗率は、通期業績予想(28年10月公表)に対する進捗率

- ・ めぶきFG連結の28年度第3四半期の業績は、常陽銀行連結(上期:6ヶ月)にめぶきFG連結(10-12月:3ヶ月)を合算。
- ・ 経営統合に伴う「負ののれん発生益」1,192億円を特別利益に計上。

● 常陽銀行 (単位:億円)

項目	【単体】	前年 同期比	増減率	進捗率	項目	【連結】	前年 同期比	増減率	進捗率
業務純益	334	+7	+2.2%	72.6%	業務純益	-	-	-	-
経常利益	339	+12	+3.7%	83.8%	経常利益	368	+7	+2.1%	81.8%
四半期純利益	236	+13	+6.2%	84.6%	四半期純利益	255	+10	+4.2%	82.5%

● 足利銀行 (単位:億円)

項目	【単体】	前年 同期比	増減率	進捗率	項目	【連結】	前年 同期比	増減率	進捗率
業務純益	288	Δ4	Δ1.5%	88.8%	業務純益	-	-	-	-
経常利益	273	Δ39	Δ12.7%	89.7%	経常利益	314	+18	+6.3%	99.7%
四半期純利益	233	+11	+5.2%	111.0%	四半期純利益	264	+58	+28.5%	123.0%

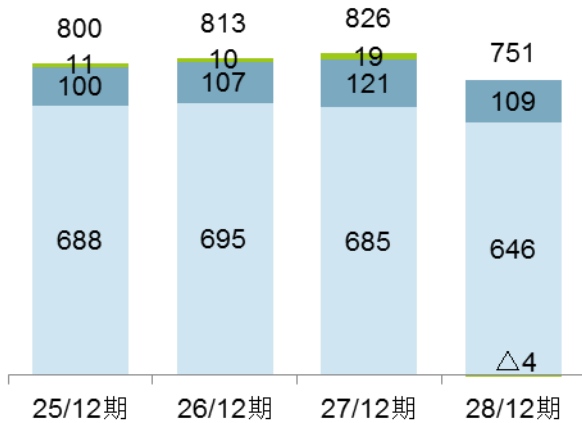
(*) 進捗率は、通期業績予想(28年5月公表)に対する進捗率

コア業務粗利益 (国債等債券損益を除く業務粗利益)

◇ 常陽銀行、足利銀行とも貸出金利回りの低下を主因に、資金利益が減少。
 役務取引等利益は、預り資産関連手数料を中心に減少。

● 常陽銀行

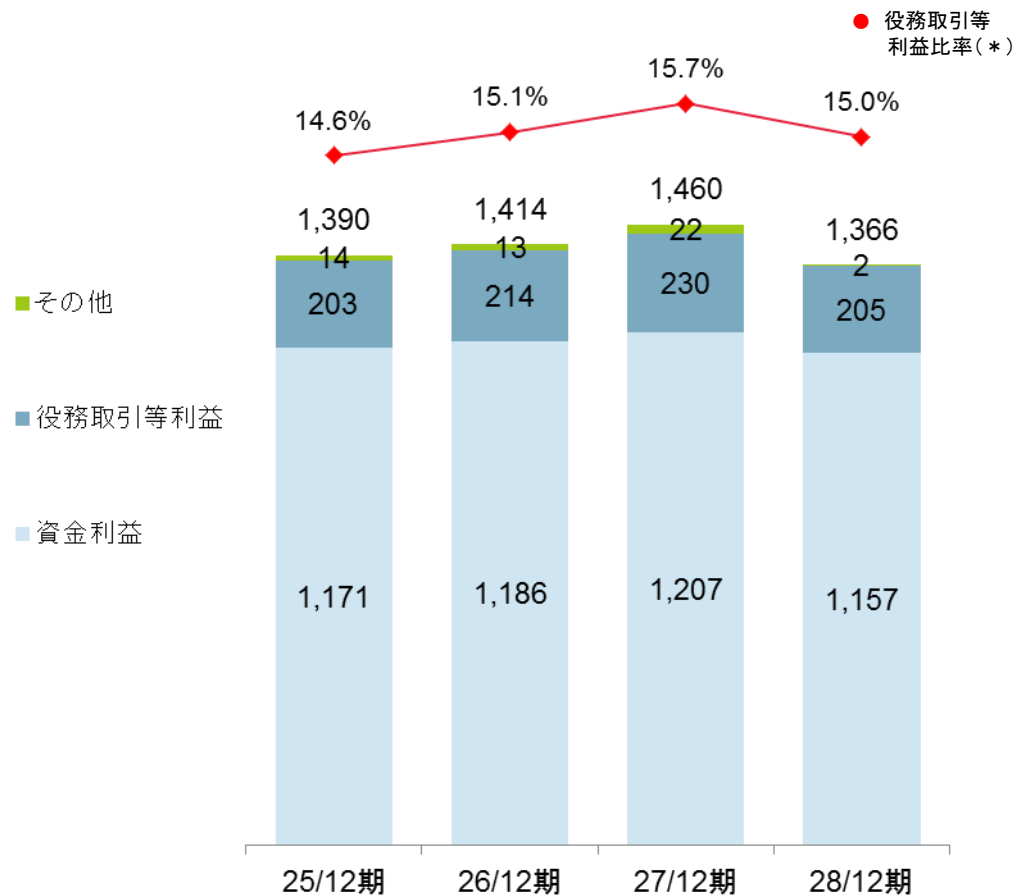
(単位: 億円)



(*) 28/12期「その他」には、金利スワップによるコストを含む

● 2行単純合算

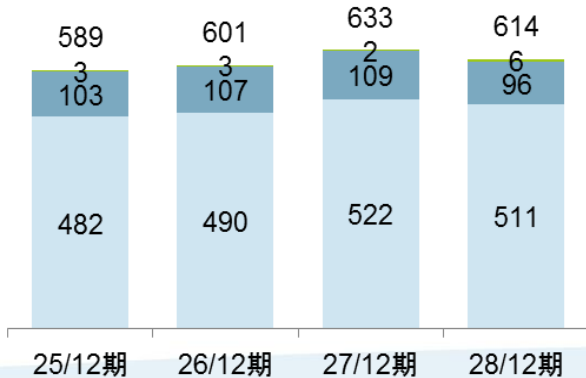
(単位: 億円)



(*) 役務取引等利益比率 = 役務取引等利益 / コア業務粗利益

● 足利銀行

(単位: 億円)



資金利益・役務取引等利益（トップライン）

● 常陽銀行

（単位：億円）

	26/12期	27/12期	28/12期	前年同期比
資金利益	695	685	646	△ 39
貸出金利息	511	498	480	△ 18
有価証券利息配当金	216	230	218	△ 11
預金利息(△)	18	20	16	△ 3
市場調達等(△)	13	23	36	+12
役務取引等利益	107	121	109	△ 12
投資信託・保険手数料	50	48	34	△ 13
ローン関連手数料	11	13	17	+4
為替・口座振替・ATM関連等	89	91	91	+0
住宅ローン団信保険料	△37	△26	△27	△ 1
その他	△7	△5	△6	△ 1

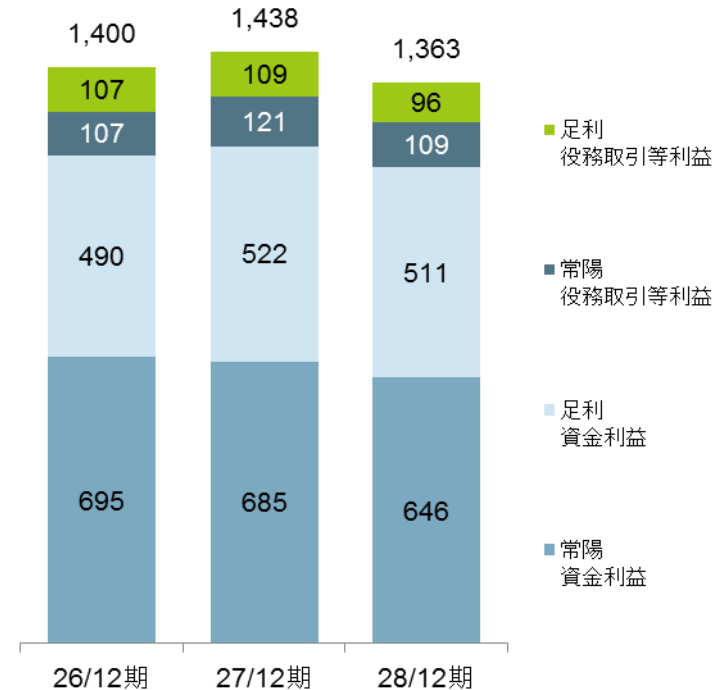
● 足利銀行

（単位：億円）

	26/12期	27/12期	28/12期	前年同期比
資金利益	490	522	511	△ 10
貸出金利息	414	404	385	△ 19
有価証券利息配当金	93	136	145	+8
預金利息(△)	17	16	9	△ 7
市場調達等(△)	△0	2	10	+7
役務取引等利益	107	109	96	△ 12
投資信託・保険手数料	52	53	41	△ 12
ローン関連手数料	26	27	29	+2
為替・口座振替・ATM関連等	52	53	52	△ 1
住宅ローン団信保険料	△26	△26	△29	△ 3
その他	1	1	3	+1

● 2行単純合算

（単位：億円）



● 有価証券利息配当金に含まれる私募投信解約益

（単位：億円）

		26年度	27年度	28年度
常陽	上期	4	4	0
	下期	△0	4	3
足利	上期	11	37	31
	下期	-	-	4

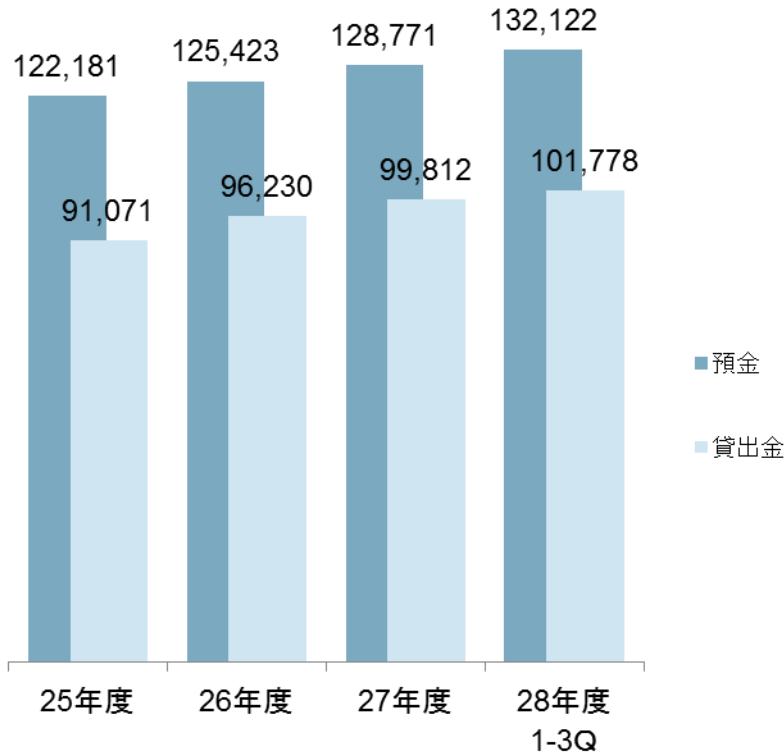
（*）28年度下期は第3四半期(10-12月)の実績

預貸金 平残・利回り

預金・貸出金の平残

● 2行単純合算

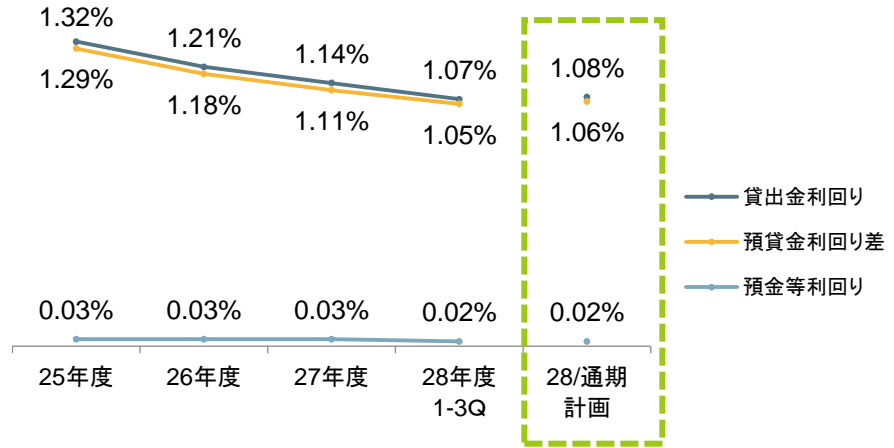
(単位: 億円)



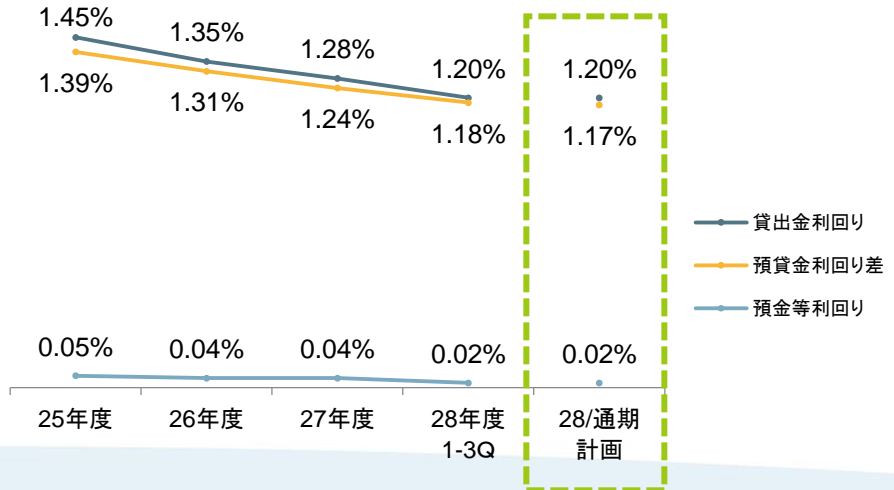
<預金>	25年度	26年度	27年度	28年1-3Q
常陽	74,501	75,993	78,341	80,504
足利	47,680	49,430	50,430	51,618
<貸出金>				
常陽	52,749	55,775	58,082	59,507
足利	38,322	40,455	41,730	42,271

利回り (国内+国際)

● 常陽銀行



● 足利銀行



貸出金（1）末残

◇ 常陽銀行、足利銀行とも、住宅関連ローンを中心に個人貸出金が増加。

貸出金末残は、常陽銀行が前年同期末比+968億円（年率+1.6%）、足利銀行が同+629億円（同+1.4%）。

● 常陽銀行

（単位：億円）

	25/12月末	26/12月末	27/12月末	28/12月末	増減（年率）
個人	18,254	20,086	21,874	23,377	+6.8%
法人	26,590	27,433	27,742	27,251	△1.7%
公共	7,931	8,168	8,071	7,917	△1.9%
外貨	375	716	1,019	1,129	+10.8%
合計	53,151	56,405	58,707	59,676	+1.6%
増減（年率）	-	+6.1%	+4.0%	+1.6%	-
円貨預貸率	70.4%	73.1%	73.6%	73.4%	△0.2%

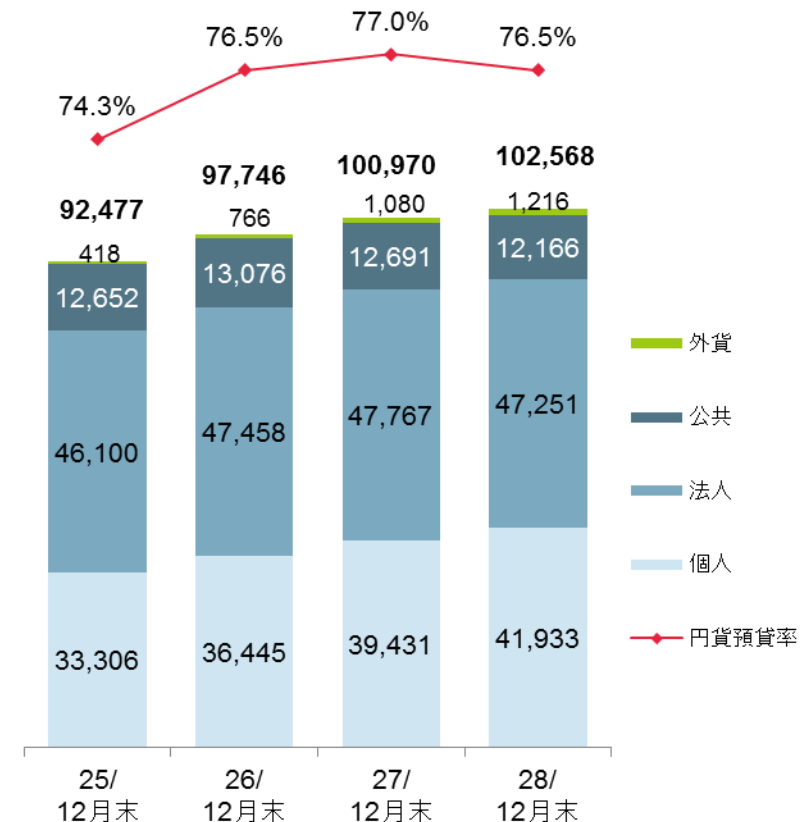
● 足利銀行

（単位：億円）

	25/12月末	26/12月末	27/12月末	28/12月末	増減（年率）
個人	15,052	16,358	17,556	18,555	+5.6%
法人	19,510	20,025	20,024	20,000	△0.1%
公共	4,720	4,908	4,619	4,249	△8.0%
外貨	42	50	60	86	+42.7%
合計	39,325	41,341	42,262	42,892	+1.4%
増減（年率）	-	+5.1%	+2.2%	+1.4%	-
円貨預貸率	80.1%	81.7%	82.0%	81.2%	△0.8%

● 2行単純合算

（単位：億円）



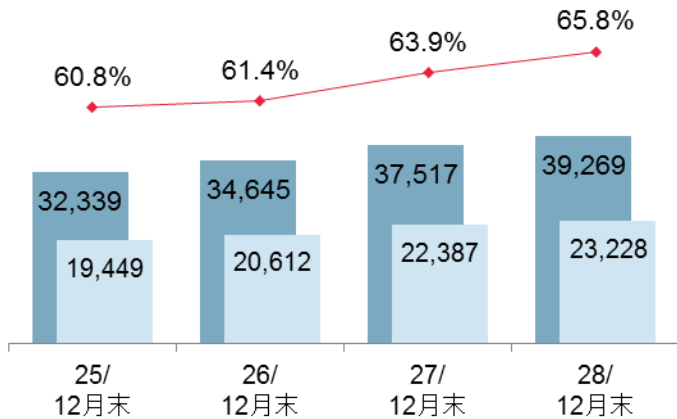
（*） 個人事業主は「個人」に含む。金融は「法人」に含む。

貸出金（2） 中小企業等貸出金・住宅関連ローン

中小企業等貸出金（中小企業・個人）末残

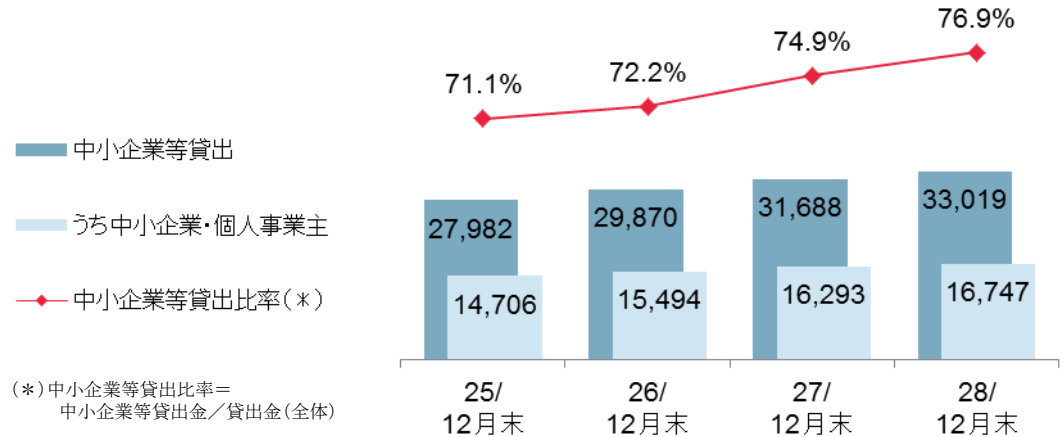
● 常陽銀行

(単位: 億円)



● 足利銀行

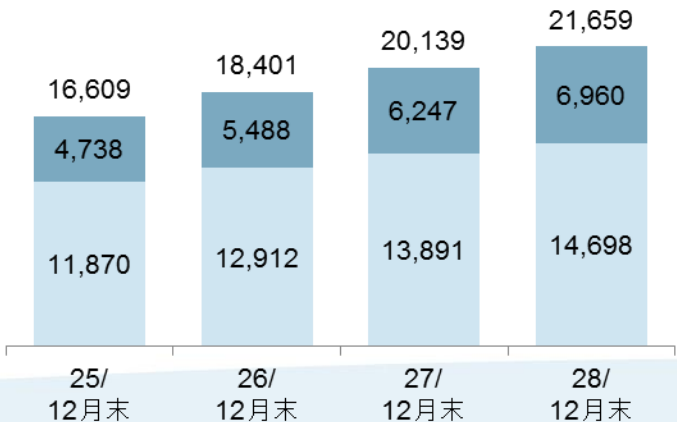
(単位: 億円)



住宅関連ローン末残

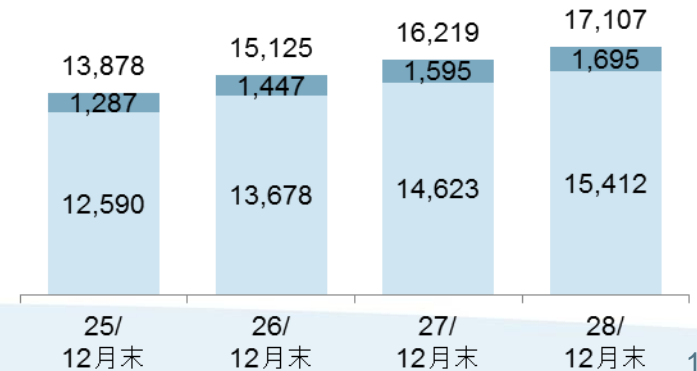
● 常陽銀行

(単位: 億円)



● 足利銀行

(単位: 億円)



預金 末残

◇ 常陽銀行、足利銀行とも、個人・法人・外貨預金が増加。

預金末残は、常陽銀行が前年同期比+2,279億円(年率+2.8%)、足利銀行が同+1,234億円(同+2.3%)。

●常陽銀行

(単位:億円)

	25/12月末	26/12月末	27/12月末	28/12月末	増減(年率)
個人	56,723	57,919	59,376	60,677	+2.1%
法人(*1)	14,670	15,051	15,566	16,146	+3.7%
公共	3,469	3,208	3,346	2,854	△14.7%
外貨(*2)	679	522	912	1,802	+97.5%
合計	75,542	76,701	79,201	81,481	+2.8%
増減(年率)	-	+1.5%	+3.2%	+2.8%	
流動性比率(*3)	62.1%	63.3%	64.6%	66.7%	+2.1%

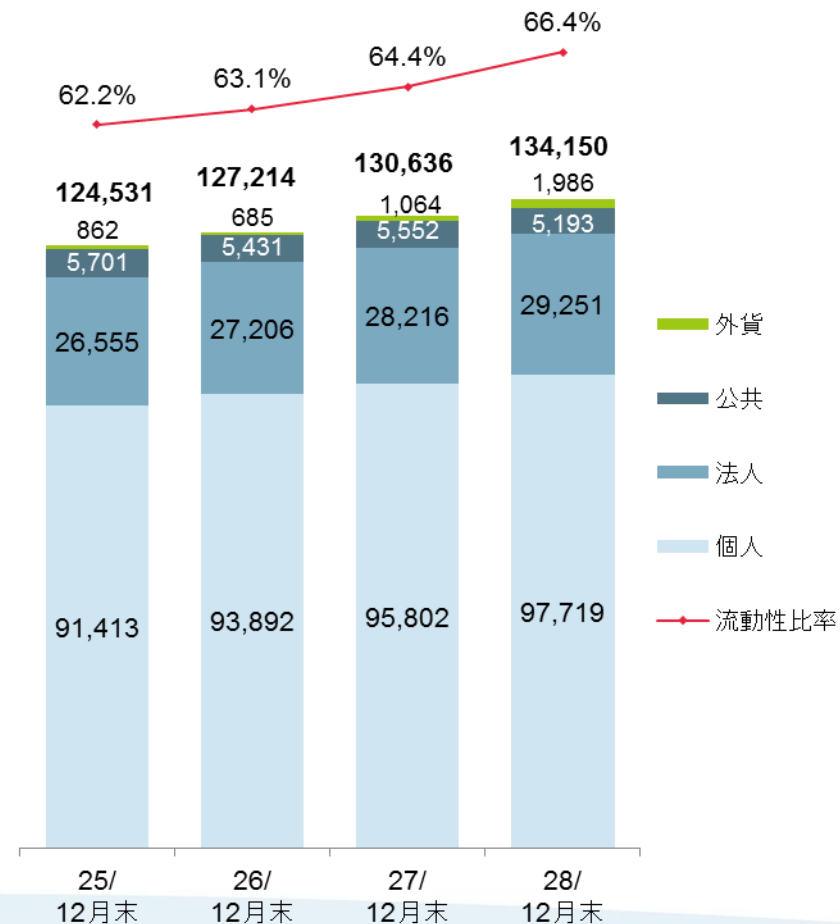
●足利銀行

(単位:億円)

	25/12月末	26/12月末	27/12月末	28/12月末	増減(年率)
個人	34,689	35,972	36,426	37,042	+1.6%
法人(*1)	11,886	12,156	12,652	13,105	+3.5%
公共	2,231	2,222	2,206	2,338	+6.0%
外貨(*2)	181	161	149	182	+21.7%
合計	48,988	50,513	51,434	52,669	+2.3%
増減(年率)	-	+3.1%	+1.8%	+2.3%	
流動性比率(*3)	62.3%	62.8%	64.2%	66.0%	+1.8%

●2行単純合算

(単位:億円)



(*1) 金融は「法人」に含む。

(*2) 外貨預金には、為替予約付外貨預金、オフショア預金等を含む。

(*3) 流動性比率 = 流動性預金末残(円貨) / 預金末残(円貨)

預り資産（１） 預り残高・NISA

- ◇ 預り資産販売額は、金融市場の先行き不透明感等を背景に、投信・保険の販売額が低迷。
- ◇ 両行とも、預り資産顧客の裾野拡大に注力。

預り残高

● 常陽銀行

(単位: 億円)

	25/12月末	26/12月末	27/12月末	28/12月末	増減(年率)
投資信託	2,910	3,709	3,371	3,067	Δ9.0%
保 険	3,841	4,184	4,387	4,517	+2.9%
外貨預金	679	504	556	1,197	+115.0%
国 債 等	3,133	2,593	1,981	1,605	Δ18.9%
合 計	10,564	10,991	10,298	10,388	+0.8%
取引先数	-	190,614	190,858	196,895	+3.1%

(*) 外貨預金には、為替予約付外貨預金を含む。

● 足利銀行

(単位: 億円)

	25/12月末	26/12月末	27/12月末	28/12月末	増減(年率)
投資信託	2,837	3,336	3,439	3,386	Δ1.5%
保 険	2,763	2,912	3,044	3,254	+6.9%
外貨預金	181	158	149	182	+21.7%
国 債 等	1,906	1,390	949	738	Δ22.2%
合 計	7,688	7,797	7,583	7,562	Δ0.2%
取引先数	-	148,501	148,650	155,875	+4.8%

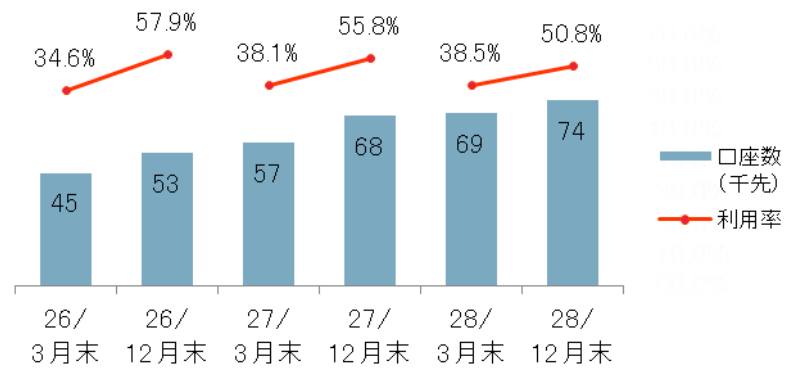
● 2行単純合算

(単位: 億円)

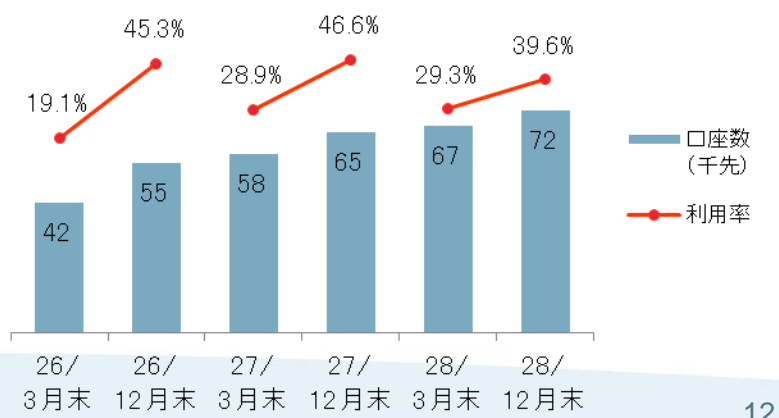
	25/12月末	26/12月末	27/12月末	28/12月末	増減(年率)
投資信託	5,748	7,045	6,810	6,453	Δ5.2%
保 険	6,604	7,097	7,432	7,772	+4.5%
外貨預金	860	662	706	1,380	+95.2%
国 債 等	5,039	3,983	2,931	2,343	Δ20.0%
合 計	18,253	18,788	17,881	17,950	+0.3%

NISA（口座数・利用率）

● 常陽銀行



● 足利銀行



預り資産（２）販売額・手数料額

販売額・手数料額

(単位:億円)

●常陽銀行

	販売額					手数料額				
	26年度	27年度	28/上	28/3Q	27/3Q比	26年度	27年度	28/上	28/3Q	27/3Q比
投資信託	2,449	2,040	311	234	△218	47.4	38.1	15.1	8.6	+0.3
うち株式投信	1,528	1,125	311	234	+45	-	-	-	-	-
保 険	825	613	165	66	△91	22.4	26.6	8.3	2.6	△4.1
外貨預金	950	1,682	1,549	823	+534	5.2	6.2	1.4	1.5	+0.2
国 債 等	407	214	91	73	+20	1.7	0.8	0.3	0.2	+0.0
金融商品仲介	730	847	332	234	+97	3.2	3.4	0.8	0.7	+0.2
合 計	5,363	5,399	2,451	1,432	+341	80.1	75.2	26.1	13.8	△3.2

(*) 外貨預金には、為替予約付外貨預金を含む。

●足利銀行

	販売額					手数料額				
	26年度	27年度	28/上	28/3Q	27/3Q比	26年度	27年度	28/上	28/3Q	27/3Q比
投資信託	1,501	1,239	376	227	△37	49.6	44.3	16.1	8.7	△1.7
うち株式投信	1,471	1,206	376	227	△35	-	-	-	-	-
保 険	427	453	169	33	△62	20.3	25.9	12.9	3.2	△2.9
外貨預金	118	142	131	44	+12	1.3	1.5	1.3	3.8	+2.0
国 債 等	164	110	21	36	△9	0.4	0.1	0.0	0.0	+0.0
金融商品仲介	18	33	78	27	+14	0.3	1.0	1.5	0.4	+0.0
合 計	2,229	1,980	777	369	△83	72.2	72.9	32.1	16.3	△2.4

●2行単純合算

	販売額					手数料額				
	26年度	27年度	28/上	28/3Q	27/3Q比	26年度	27年度	28/上	28/3Q	27/3Q比
投資信託	3,950	3,280	688	461	△256	97.1	82.5	31.2	17.3	△1.4
うち株式投信	2,999	2,331	688	461	+10	-	-	-	-	-
保 険	1,253	1,067	335	100	△154	42.8	52.5	21.3	5.8	△7.0
外貨預金	1,069	1,825	1,681	868	+546	6.5	7.7	2.8	5.4	+2.3
国 債 等	571	324	113	110	+10	2.2	1.0	0.4	0.3	+0.1
金融商品仲介	748	881	410	262	+112	3.6	4.4	2.4	1.2	+0.3
合 計	7,593	7,379	3,228	1,802	+258	152.3	148.2	58.2	30.2	△5.7

有価証券運用 末残・評価損益

- ◇ 常陽銀行は、国債償還分の再投資を見合わせ、国内債券が減少。
- ◇ 足利銀行も同様に国債残高減少。ポートフォリオ・リバランスにより投資信託等が増加。

末残・評価損益

(単位:億円)

		末残(貸借対照表計上額)					内 その他有価証券の評価損益			
		27/ 3月末	28/ 3月末 ①	28/ 12月末 ②	②-①	28/3月末比 (増減率)	27/ 3月末	28/ 3月末 ③	28/ 12月末 ④	28/3月末比 ④-③
常陽銀行	国内債券	18,212	17,471	16,027	△1,443	△8.2%	366	443	279	△163
	うち国債	11,805	10,449	8,185	△2,263	△21.6%	241	284	153	△131
	外国債券	3,827	4,417	4,860	+442	+10.0%	70	85	△36	△121
	株式	2,806	2,489	2,658	+169	+6.8%	1,447	1,144	1,370	+226
	投資信託等	2,507	3,015	2,639	△376	△12.4%	442	251	223	△28
	合計	27,354	27,395	26,186	△1,207	△4.4%	2,326	1,925	1,837	△87
足利銀行	国内債券	8,325	8,093	7,550	△543	△6.7%	151	309	206	△103
	うち国債	3,519	3,515	2,912	△603	△17.1%	75	183	98	△84
	外国債券	1,687	1,730	2,229	+498	+28.8%	21	24	△12	△37
	株式	850	776	798	+22	+2.8%	362	294	320	+26
	投資信託等	1,505	2,656	3,992	+1,336	+50.3%	139	87	41	△45
	合計	12,368	13,257	14,570	+1,313	+9.9%	675	716	555	△160
2行合算	国内債券	26,537	25,565	23,578	△1,987	△7.7%	517	753	486	△267
	外国債券	5,514	6,148	7,090	+941	+15.3%	92	110	△48	△158
	株式	3,656	3,265	3,457	+191	+5.8%	1,809	1,438	1,691	+252
	投資信託等	4,013	5,672	6,631	+959	+16.9%	581	339	264	△74
		合計	39,722	40,651	40,757	+105	+0.2%	3,001	2,641	2,393

有価証券運用 デュレーション・売買損益内訳（ご参考）

デュレーション

（単位：年）

		26/3月末	27/3月末	28/3月末	28/12月末
常陽	円貨債券	3.8	3.5	3.4	3.6
	外貨債券	3.8	3.4	3.5	4.0
足利	円貨債券	4.4	4.8	4.9	5.1
	外貨債券	3.4	4.1	4.6	5.6

売買損益内訳

（単位：億円）

（*） 国債等債券損益、株式等関係損益、私募投信解約益の合計

		28/12期	内容
常陽	有価証券売買損益	170	-
	うち国内債券	61	国債
	うち外国債券	17	国債、円建外債(CMSフローター債)
	うち株式	21	政策投資株式
	うち投資信託等	69	ETF、J-REIT等
足利	有価証券売買損益	60	-
	うち国内債券	7	国債
	うち外国債券	-	-
	うち株式	29	政策投資株式
	うち投資信託等	24	インデックス・円債ファンド等

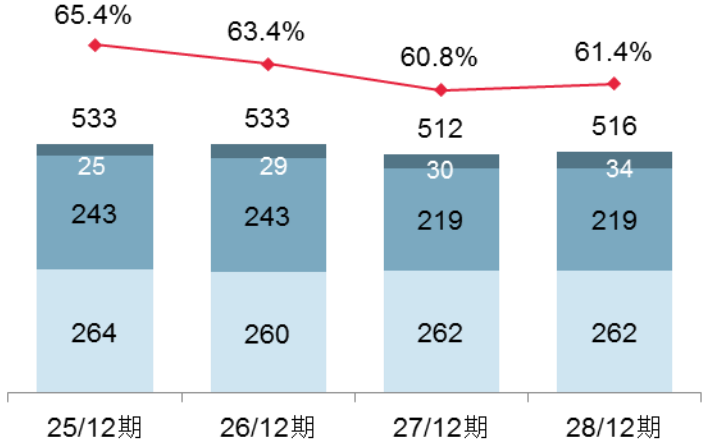
（ご参考）金利スワップのコスト△16億円

経費・OHR

- ◇ 常陽銀行の経費は、税金の増加を主因に前年同期比増加。
- ◇ 足利銀行の経費は減少。OHRは小幅上昇するも、50%台の水準を維持。

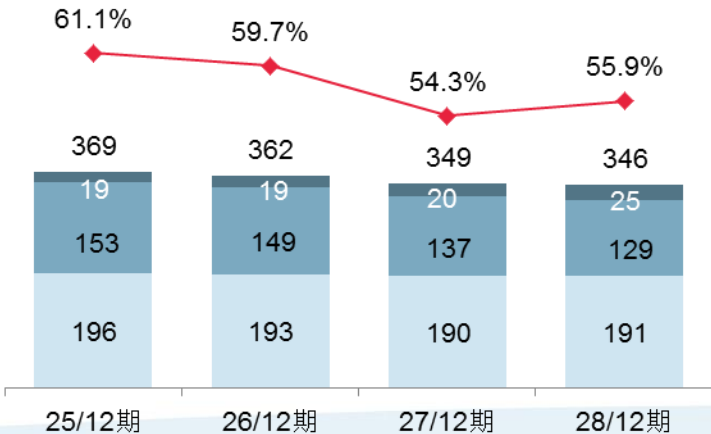
●常陽銀行

(単位: 億円)



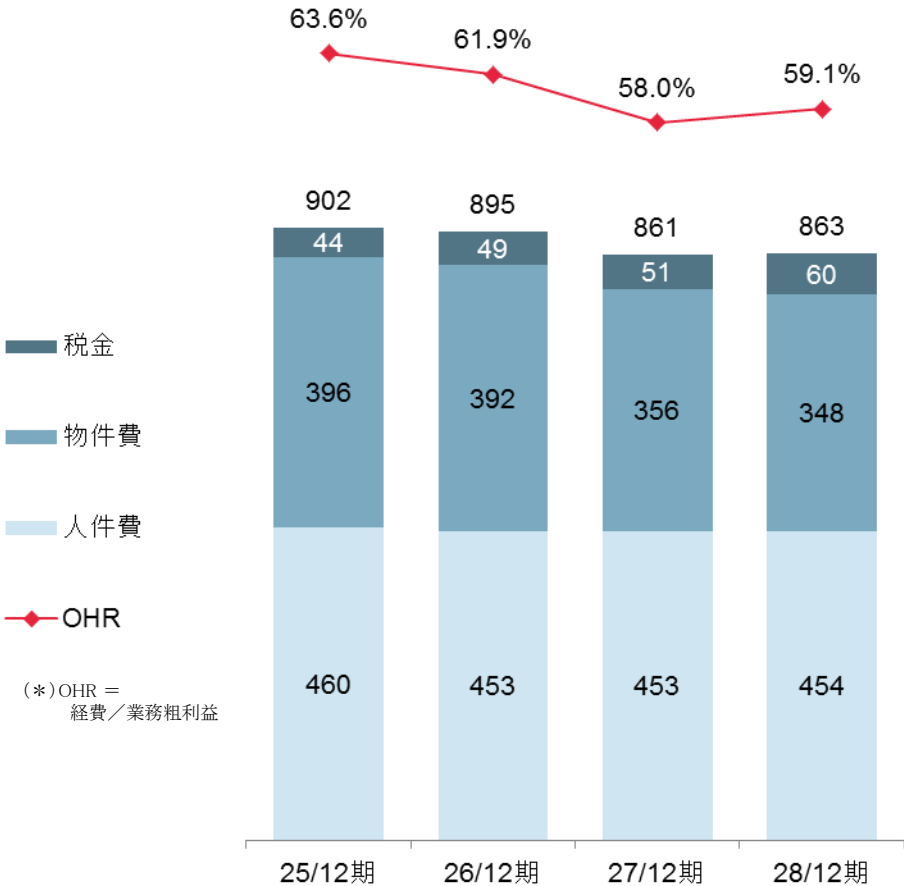
●足利銀行

(単位: 億円)



●2行単純合算

(単位: 億円)



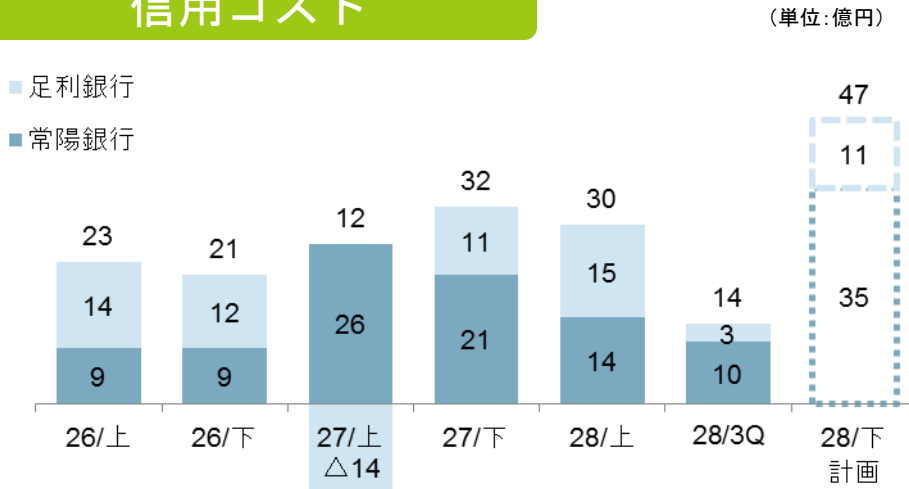
(*) OHR = 経費 / 業務粗利益

(*) 税金の増加は、主に外形標準課税の増加。

信用コスト・開示債権

◇ 常陽銀行、足利銀行とも、信用コストは落ち着いた状況。

信用コスト



<参考①> 信用コスト率

	25年度	26年度	27年度	28年度 計画
常陽銀行	0.120%	0.032%	0.082%	0.082%
足利銀行	0.193%	0.066%	△0.006%	0.064%

<参考②> 企業倒産状況

(単位: 件数・億円)

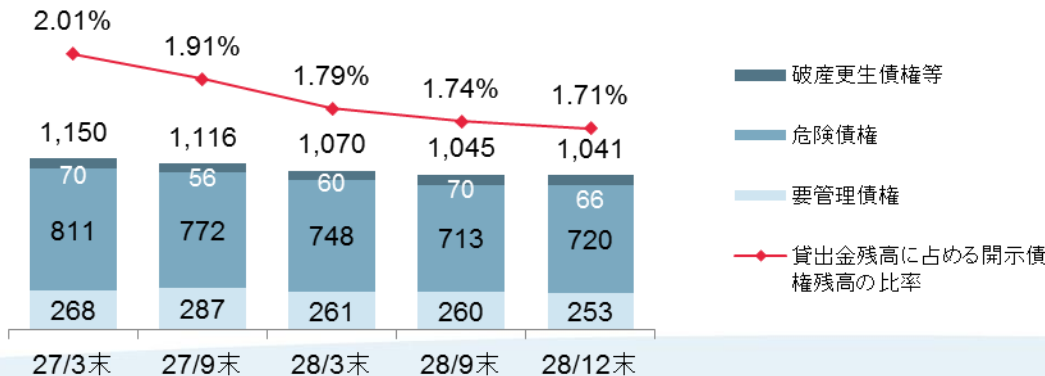
		26/上	26/下	27/上	27/下	28/上	28/3Q
茨城県	件	71	83	53	65	62	31
	金額	171	320	183	126	104	42
栃木県	件	62	86	71	59	66	46
	金額	110	197	62	103	123	107

(*) 負債総額1億円以上の倒産状況

開示債権

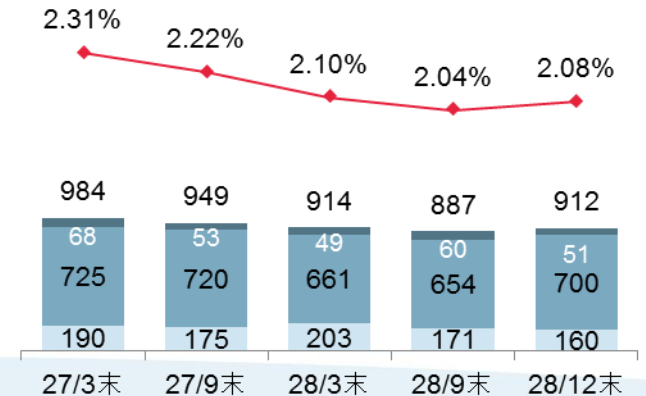
● 常陽銀行

(単位: 億円)



● 足利銀行

(単位: 億円)



通期業績見通し

◇ 常陽銀行、足利銀行、めぶきFGとも、当初業績予想から変更なし。

めぶきFGの28年度通期業績見通し(親会社株主に帰属する当期純利益)は1,550億円。

*負ののれん発生益1,192億円を含む

(ご参考) 子銀行単体 通期業績見通し

	27年度通期実績			28年度通期業績予想			前年度比					
	2行 合算	常陽 銀行	足利 銀行	2行 合算	常陽 銀行	足利 銀行	2行合算		常陽銀行		足利銀行	
							増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率
業務粗利益	1,958	1,115	843	1,950	1,140	810	△8	△0.4%	+24	+2.2%	△33	△3.9%
資金利益	1,579	898	681	1,500	840	660	△79	△5.0%	△58	△6.5%	△21	△3.1%
役務取引等利益	304	154	149	328	180	148	+23	+7.7%	+25	+16.2%	-	△0.9%
その他業務利益・特定取引等利益 (うち国債等債券損益)	74	61	13	124	120	4	+49	+65.7%	+58	+94.3%	△9	△69.4%
経費	1,153	682	470	1,165	680	485	+11	+1.0%	△2	△0.3%	+14	+3.0%
実質業務純益	805	432	373	785	460	325	△20	△2.5%	+27	+6.3%	△48	△12.9%
コア業務純益	720	356	364	695	370	325	△25	△3.5%	+13	+3.8%	△39	△10.8%
一般貸倒引当金繰入額 (a)	△6	△6	-	-	-	-	+6	-	+6	-	-	-
業務純益	812	439	373	785	460	325	△27	△3.3%	+20	+4.6%	△48	△12.9%
臨時損益	13	△12	25	△35	△55	20	△48	△368.2%	△42	+346.9%	△5	△21.1%
うち不良債権処理額 (b)	52	54	△2	75	50	25	+22	+44.0%	△4	△8.6%	+27	-
うち株式等関係損益	72	47	25	40	40	-	△32	△44.9%	△7	△15.6%	△25	-
経常利益	825	427	398	710	405	305	△115	△14.0%	△22	△5.1%	△93	△23.4%
特別損益	△10	△6	△3	1	2	△1	+11	-	+6	-	+2	△73.9%
当期純利益	586	277	308	490	280	210	△96	△16.4%	+2	+0.8%	△98	△31.9%
信用コスト (a)+(b)	45	47	△2	75	50	25	+29	+65.8%	+2	+4.4%	+27	-

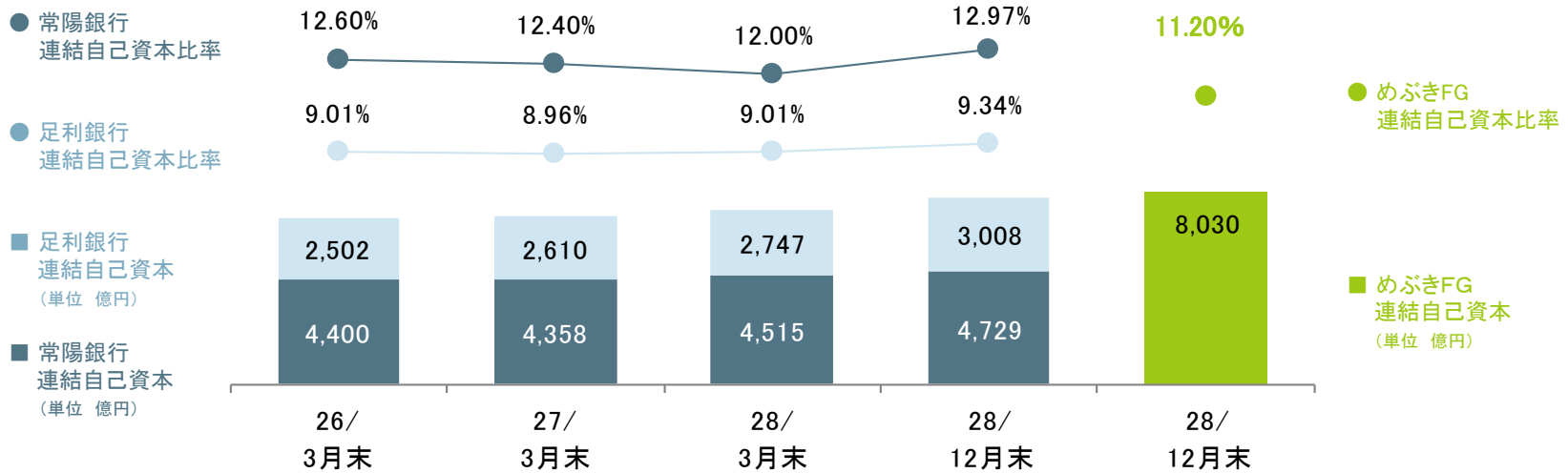
(ご参考) めぶきフィナンシャルグループ 事業計画

(単位:億円)

	27年度	28年度	30年度	(参考)33年度
常陽銀行 連結	310	310	278	371
足利銀行 連結	301	(130)	223	297
2行合算	611	(440)	501	668
連結調整等	-	(1,110)	△36	△27
めぶきFG 連結	-	1,550	466	641

自己資本比率・格付け

自己資本比率



<参考> (連結自己資本比率((経過措置なしの場合))

※信用リスクアセットの算出方法
 常陽銀行：基礎的内部格付手法
 足利銀行：標準的手法

	26/3月末	27/3月末	28/3月末	28/12月末
めぶきFG	-	-	-	9.81%
常陽	11.35%	11.51%	11.16%	12.16%
足利	8.67%	8.64%	8.77%	9.10%

格付け

○ R&I (格付投資情報センター)

○ ムーディーズ

めぶきFG	常陽銀行	足利銀行	常陽銀行
A	A+	A+	A2

株主還元

配当方針

- 新グループとしての成長に向けた資本の確保と株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。
- 28年度期末配当は、経営統合記念配当1円を加え、6.5円を予定。

株主優待制度

【対象となる株主さま】

29年3月末日時点の当社株主名簿に記載された1,000株以上をお持ちの株主さま。
以降、毎年3月末日時点の株主さまを対象に実施いたします。

【株主優待制度の内容】

地元特産品等を記載しました専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます。

【1株あたり配当の額】

主体	27年度	28年度	
	年間配当	中間配当	期末配当
常陽銀行 *1	13.0円 *2 (記念配当1円含む)	6.0円	めぶきFG 6.5円 (記念配当1円含む)
足利HD	10.0円 *3 (記念配当1円含む)	5.5円	

- *1 旧常陽銀行株式 28年度年間換算
13.6円 = 常陽銀行中間配当6.0円 + めぶきFG期末配当6.5円 × 統合比率1.17
- *2 創立80周年記念配当1円
- *3 創業120周年記念配当1円

【株主優待制度の概要】

保有株式数	特産品の金額目安	アイテム数
1,000株以上 5,000株未満	2,500円相当	茨城県・栃木県の特産品を中心に 400アイテム以上(*)
5,000株以上 10,000株未満	4,000円相当	
10,000株以上	6,000円相当	

(*)28年度常陽銀行株主優待実績 3167行ム

統合施策の進捗(1)

【地域創生】

おいしさ向上品評会 in 水戸	おいしさつながる フードフェスタ in 宇都宮	めぶき ビジネスアワード	ものづくり企業 フォーラム
<p>◆ 地域資源を活用した特産品等の商品改善・開発を目的に、モニター評価などのテストマーケティングのイベントを実施。</p> <p><実施概要(28.10.12開催)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出展企業 100社程度 ・ モニター 500名超 ・ モニターが作成した評価シート数 4,600枚超 <p>※食品事業者が自社商品を展示。外国人留学生や主婦等のモニターが、試食・インタビュー形式で商品評価を実施。</p>	<p>◆ 地域資源を活用した特産品等の食品事業者への販路拡大支援、バイヤーへの商品仕入支援のため、商談会のイベントを実施。</p> <p><実施概要(28.11.22開催)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出展企業 300社超 ・ バイヤー 150社程度 ・ 予約商談会実施 450件程度 <p>※売り手企業が自社商品を展示する「展示商談」、および「事前予約制の商談」を実施。</p>	<p>◆ 両行がそれぞれ開催していたビジネスプランを統合し、地域の革新的・創造的な優れた事業プランを表彰。</p> <p>◆ 事業計画セミナー等により、事業拡大をサポート。</p> <p><実施概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募件数 516件(1月末現在) ・ 募集対象は、「成長分野」「地方創生」の取組み、「創業分野」など8つの事業分野 <p>※資金面の支援 「めぶき地域創生ファンドの組成」 ファンドの規模 20億円 投資対象:農業・食品・観光分野等 LP: 常陽銀行、足利銀行 損害保険ジャパン日本興亜</p>	<p>◆ 地域のものづくり企業を2行共催で支援。 ドイツ・台湾の企業を招聘したものづくり企業フォーラムを開催。</p> <p><実施概要(29.2.22開催予定)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術提案書作成 250件超 ・ パネル展示商談会 300件程度 <p>※新規大手技術ユーザー21社、計63社来場予定。2行共催により、過去最大の技術提案数・パネル出店数。</p>

【地域交流】

経済講演会(28年度下期 計8回開催)

両行の主要地盤において、新FGのご案内にあわせ、有識者による講演会を開催。(下線は両頭取参加)

【開催地】栃木県: 宇都宮、足利

茨城県: 水戸、つくば、日立、鹿島、下館

福島県: 郡山

【組織融合(人材交流施策)】

合同研修会

・各階層別に合同研修会を開催。
(1年間で延べ1,000名参加)

・研修講座等の相互開放実施。

地域連携会議開催

営業現場レベルでの融合を進めるため、10地域に「めぶき地域連携会議」を設置。顧客紹介や協調融資案件への取組みに積極的につなげる態勢を構築。

統合施策の進捗(2) ~Day180プラン~

実施項目		実施施策
施策	チャネル	2行間における振込手数料の本支店化扱い 両行間の振込手数料を、本支店間手数料率へ引下げ。 【対象取引】 窓口、ATM(カード・現金)、インターネットバンキング
		ATMの相互入金 両行のカードをお持ちのお客様が、相手行のATMを利用した入金が可能。
	グループ会社	証券業務の協働 足利銀行のフィナンシャルコンサルタントが常駐する13支店で、常陽証券が取り扱う商品の媒介型仲介を開始。
		リース業務の協働 足利銀行において、常陽リースのオートリースの取扱い開始。
	預り資産	共同ファンドの設定 経営統合を記念して、茨城・栃木に関連する企業の株式を組み入れた投資信託「ふたつの夢」を設定し、両行で販売。
キャンペーン	個人	預り資産・キャンペーン 投資信託・外貨預金・円定期預金の取引(20万円以上)、積立をしていただいたお客さまに抽選で県産品をプレゼント(地元企業の応援、PRも目的)。
		マイカーローン 教育ローンの金利割引 マイカーローン、教育ローンの金利割引キャンペーンを展開。
	法人	法人インターネットバンキング・キャンペーン 法人インターネットバンキングを新規にご契約いただいたお客さまに、契約料および3ヶ月分の月間手数料を優遇。
		シンクタンクセミナー 両行のシンクタンクのセミナーで、それぞれの地域情報・企業動向等を発信。夫々の会員が相手方の会員待遇でセミナーに参加。新たな会員獲得につなげるとともに、経済交流企画の拡大を図る。
その他	体制	めぶき連絡窓口 めぶき地域連携会議 両行の本部に「めぶき連絡窓口」を設置するほか、10地域に「めぶき地域連携会議」を設置し、両行の融和・連携に向けた取組みを誘導し、顧客紹介や協調融資案件への取組みなどシナジーの早期実現に向けた取組みを実施。



10~12月の実績
-
-
○ FG全体の金融仲介実績 販売額 286億円(前年同期比+113億円) うち外債 228億円(同+140億円)
○ 常陽リースへの情報取次ぎ 取次ぎ件数1,171件(前年同期比+297件)
○ FG全体の販売実績 販売件数/金額 9,117件/202億円 【計画】200億円 ⇒ 達成率101.3%
○ FG全体の販売実績(キャンペーン実績) 投資信託 282億円(前年同期比+36億円) 外貨預金 23億円(同+14億円) 積立 4,206件(同▲394件)
○ マイカーローン 事前申込4,499件/84億円 実行1,605件/27億円 ○ 教育ローン 事前申込1,501件/40億円 実行567件/15億円
○ FG全体の約定実績 新規契約件数 1,704件(前年同期比+591件) 有償サービスの追加件数 586件
○ 相互セミナーの参加実績 11社/19名
○ 協調融資:3先/1,759百万円 ○ シローン:5先/2,120百万円 ○ 取引先紹介:6先/718百万円

【参考資料】 常陽銀行・足利銀行 第3四半期決算の概要

平成28年度第3四半期決算

(単位:億円)

【見通比 進捗率】

	27年 4-12月			28年 4-12月									2行合算			常陽銀行	足利銀行
	2行合算	常陽銀行	足利銀行	2行合算		常陽銀行			足利銀行								
				実績	前年同期比	実績	前年同期比	増減率	実績	前年同期比	増減率	実績	前年同期比	増減率			
業務粗利益	1,484	842	642	1,460	Δ24	840	Δ1	Δ0.1%	619	Δ22	Δ3.5%	74.9%	73.7%	76.5%			
資金利益	1,207	685	522	1,157	Δ49	646	Δ39	Δ5.7%	511	Δ10	Δ2.0%	77.2%	76.9%	77.5%			
役務取引等利益	230	121	109	205	Δ25	109	Δ12	Δ10.0%	96	Δ12	Δ11.8%	62.7%	60.6%	65.1%			
その他業務利益・特定取引等利益 (うち国債等債券損益)	46	35	11	97	+50	85	+49	+140.7%	11	+0	+5.3%	78.3%	71.1%	294.6%			
(うち国債等債券損益)	24	15	8	94	+70	89	+73	+476.5%	4	Δ3	Δ42.6%	104.8%	99.3%	-			
経費	861	512	349	863	+1	516	+4	+0.8%	346	Δ2	Δ0.6%	74.1%	75.9%	71.5%			
うち人件費	453	262	190	454	+0	262	+0	+0.0%	191	+0	+0.3%	73.6%	74.6%	72.3%			
うち物件費	356	219	137	348	Δ7	219	Δ0	Δ0.0%	129	Δ7	Δ5.5%	73.3%	76.5%	68.3%			
実質業務純益	623	329	293	597	Δ26	324	Δ5	Δ1.7%	272	Δ20	Δ6.9%	76.1%	70.5%	84.0%			
コア業務純益	599	314	284	502	Δ96	234	Δ79	Δ25.2%	268	Δ16	Δ5.9%	72.4%	63.4%	82.5%			
一般貸倒引当金繰入額 (a)	3	3	-	Δ25	Δ28	Δ9	Δ12	-	Δ15	Δ15	-	-	-	-			
業務純益	620	326	293	622	+2	334	+7	+2.2%	288	Δ4	Δ1.5%	79.4%	72.6%	88.9%			
臨時損益	20	0	20	Δ9	Δ30	5	+5	+834.7%	Δ15	Δ35	Δ174.7%	-	-	-			
うち不良債権処理額 (b)	34	35	Δ0	69	+35	35	Δ0	Δ1.3%	34	+35	-	93.2%	70.3%	138.9%			
うち株式等関係損益	70	45	25	96	+26	76	+31	+69.7%	19	Δ5	Δ21.5%	-	192.2%	-			
経常利益	641	327	313	613	Δ27	339	+12	+3.7%	273	Δ39	Δ12.7%	86.4%	83.8%	89.8%			
特別損益	Δ5	Δ3	Δ1	Δ4	+0	Δ3	+0	-	Δ0	+0	-	-	-	-			
四半期純利益	444	223	221	470	+25	236	+13	+6.2%	233	+11	+5.2%	95.9%	84.6%	111.0%			
信用コスト (a)+(b)	38	38	Δ0	44	+6	25	Δ13	Δ34.4%	18	+19	-	58.9%	50.9%	75.0%			
【連結】																	
経常利益	656	360	295	682	+26	368	+7	+2.1%	314	+18	+6.3%	-	-	-			
親会社株主に帰属する四半期純利益	451	245	205	520	+69	255	+10	+4.2%	264	+58	+28.5%	-	-	-			

【参考資料】 「負ののれん」について

【企業結合の方式】

株式交換＜平成28年10月1日＞

足利HD : 株式交換完全親会社

常陽銀行 : 株式交換完全子会社

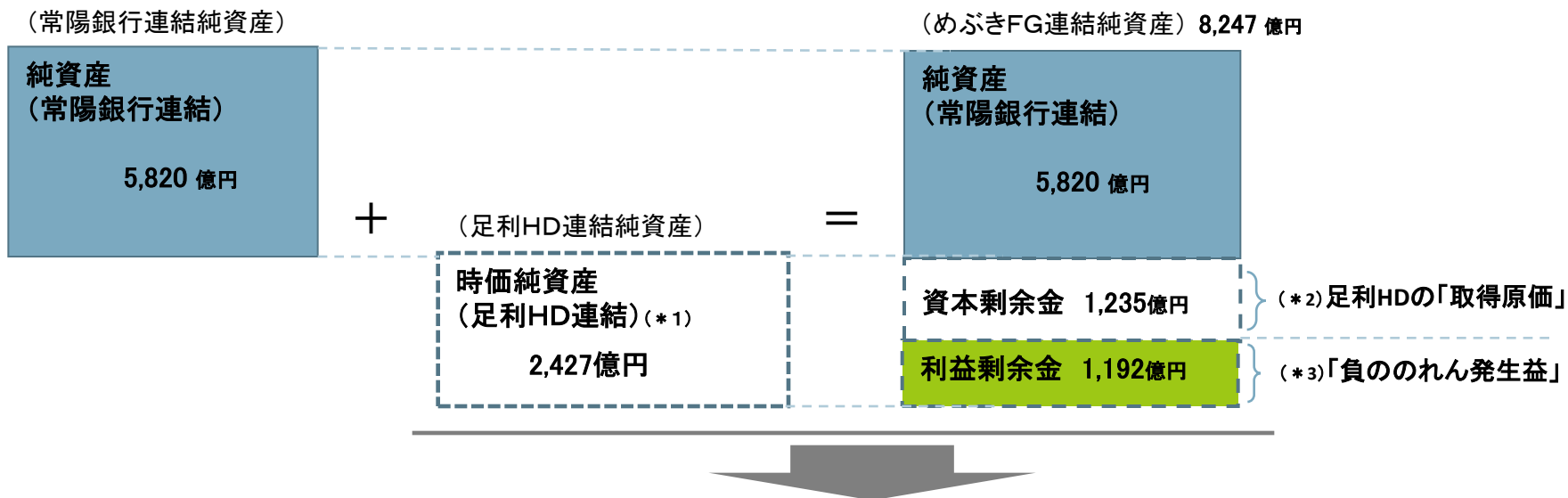
【企業結合会計(逆取得に該当、パーチェス法を採用)】

負ののれん発生益を特別利益に1,192億円計上

常陽銀行 : 取得企業

足利HD : 被取得企業

【イメージ図】 平成28年10月1日時点



○ 足利HDの「連結時価純資産」と「取得原価」の差額が「負ののれん発生益」となる。

「連結時価純資産」(*1)

足利HDからの受入資産・負債を時価評価し、足利HDで計上していた正ののれんを控除した金額。

足利HDの「取得原価」(*2)

パーチェス法に伴う取得原価は、経営統合時における足利HDの時価総額に相当し、資本剰余金に計上。

◇足利HDの調整後株式数÷1.17(統合比率)×常陽銀行の株価(最終売買日9/27終値)等

「負ののれん発生益」(*3)

損益計算書において「特別利益」に計上し、純資産の部は「利益剰余金」となる。

本件に関するお問合せ先

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <http://www.mebuki-fg.co.jp/>

【ご注意】

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより実際の数値と異なる可能性があります。